

オープンソースソフトウェアの脆弱性情報管理に関する戦略策定（新規）

（一財）機械システム振興協会

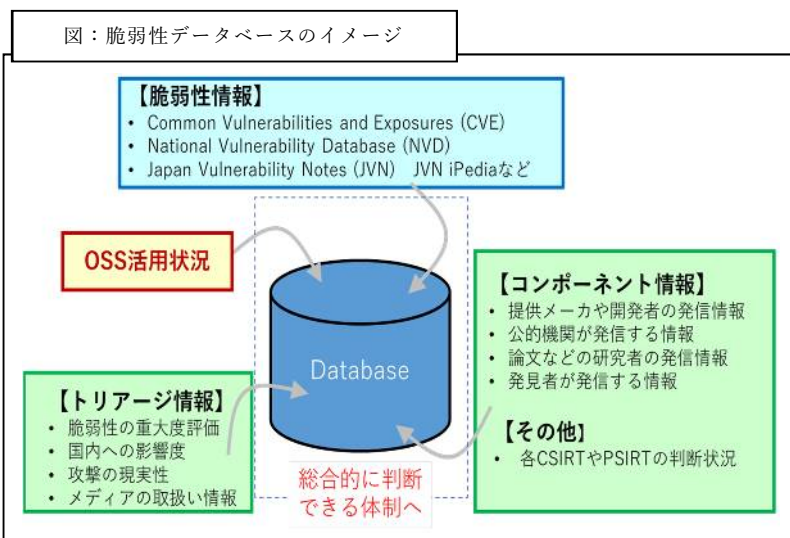
委託先：（一社）コンピュータソフトウェア協会

【事業の目的】

ソフトウェアの開発においては、オープンソースソフトウェア(OSS)を用いることが主流になっているため、情報セキュリティ対策の面でも、OSS に着目して、ソフトウェアのサプライチェーン全体のセキュリティ対策を行うことが重要です。

我が国においては、IPA と JPCERT/CC が連携して情報セキュリティに関する脆弱性情報を無償で社会に提供していますが、日々提供される情報件数が膨大なため、ソフトウェア業界にとってトリアージ可能な環境（緊急に必要な対策をサポートする環境）を整える

観点から、今後の Software ISAC（Information Sharing and Analysis Center）の事業化を見据えつつ、オープンソースソフトウェアの脆弱性情報管理に関する戦略を策定します。



【事業の概要】

①対象とする技術

パッケージソフトウェア及びIoT 機器に用いる組込みソフトウェアを対象として、中小企業でも対応可能なサプライチェーン全体の情報セキュリティ提供システムに取り組みます。

②主な参加者

学識経験者、IT 企業、関係する業界団体、IPA などが参加します。

③実施の概要とポイント

- 企業ヒアリングを行い、ソフトウェア開発における OSS の活用状況を可視化します。
- Software ISAC で用いる脆弱性管理データベース及び脆弱性管理ポータルについての要件定義等を検討します。
- Software ISAC の具体的なサービスなどを明確化します。
- コンピュータソフトウェア協会では、令和 2 年度も Software ISAC の検討を継続し、令和 3 年度からは自ら事業化し、将来は独立した機関とすることを予定しています。